

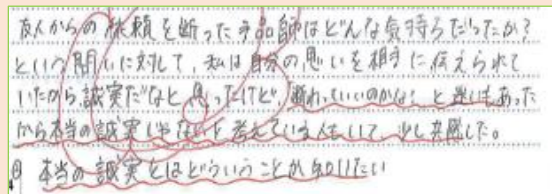
Ⅲ 道徳科の評価

振り返りの視点

- ①今日新しく（テーマ）について知ったこと
- ②これからできること
- ③まだもやもやしていること
- ④自分ってまだ弱いなあと思うこと
- ⑤友達の意見ではっとしたこと

授業ごとの振り返り

①から⑤の5つの視点から生徒自らが選択して本時の振り返りをする



授業実践

授業整理会で出た反省点をいかす

教師間での授業整理会

発問は適切だったか、協学により生徒の考えは深まったかを教師が振り返り、授業改善に努める



積み重ねながら

学期の振り返り

生徒は自己の変容を自覚する

教師は評価に活用する

変容を自覚

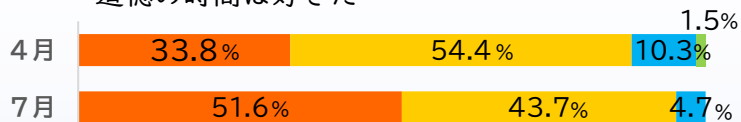
授業をする前とした後で、見方や思いが変わることがけっこうありました。授業で学んだことをこれから生かせるようにしたいです。友達の考えでなるほどと思うこともたくさんありました。

いろいろな人の意見を聞いてみると、思わず『ああ』と思う自分にはなかった考えがあった。その人が思う、その人にしか表せない考えが道徳の授業でたくさん知れてよかった。

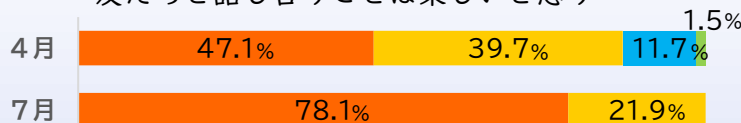
アンケート結果

生徒アンケート

・道徳の時間は好きだ



・友だちと話し合うことは楽しいと思う



保護者アンケート

・道徳教育について満足している



教職員アンケート

・道徳的な指導を意識して取り入れている



成果・課題・今後において

成果

- 実践を重ねる中で、生徒たちに「対話」「協学」が浸透し、友だちと話し合うことへの前向きな姿勢が育まれてきた。
- 学年を超えた教師同士の「協学」を意識した教材研究→授業実践→授業整理会を積み上げることで、授業力向上につながっている。

課題

- △生徒同士が対話を通して、他者の考えと自分の考えを練り上げ、学びを深めることが難しい。

今後において

- 「協学」の場面において、生徒が友だちの意見から自分の考えや学びを深めることができるように、教師が「見取り」や「切り返し発問」などの仕掛けを模索し、充実させていく。